

る。

### 1. 図們江地域国際協力開発討論会

今回のフォーラムは過去2回と同じく国際討論会と商談会が同時に開かれた。9月2日に開かれた国際討論会では、UNDP図們江開発事務局、中国、韓国、日本などからの参加者による意見交換が行われた。

中国側からは吉林大学東北亜研究院・王勝今院長、図們江地区開発学会・李基云秘書長、延辺大学東北亜研究院・朴承憲院長、延辺大学東北亜旅遊資源開発センター・温艶玲主任など5人の報告が行われた。その内容を整理すると、延辺州は10年間の50億元を投入し基礎施設の改善を積極的に行ったが、まだ不足している。外資導入額は累計で約5.8億ドルである。

国務院は2000年4月、琿春輸出加工区、2001年2月に琿春中口互市貿易区の設置を批准した。2001年4月に延辺州は西部開発の優遇政策を受けることになった。

延辺と北朝鮮辺境地域との経済貿易協力

- 1999年以降中朝辺境貿易は毎年30%以上成長している。2001年1～10月の辺境貿易額は5,836万ドル（輸出4,201万ドル、輸入1,635万ドル）である。
- 輸出内容は工産品が1,246.3万ドルで21.3%、石炭・コークスが678.2万ドル、機械・電気産品が522.6万ドルの順である。
- 琿春経由の羅津観光客は毎年1万人を超えている。
- 北朝鮮へ投資している大部分の延辺企業は北朝鮮で登記してから経営している。北朝鮮側の資料では約40～50の延辺企業が運送、タクシー営業、ホテル、商店、薬店、製造業（塗料、芝麻油、黒木耳などの生産）などのビジネスを行っている。
- 北朝鮮には消費財が不足であるので羅先市に中国商品市場を設立し、北朝鮮の内地まで流通し、羅先市を中国産品の集散地とすることができる。韓国、日本市場向けの水産物、畜産物、特産品の加工工場設立も考えられる。

延辺とロシア極東地域との経済貿易協力

- 対ロシア辺境貿易は2000年に5,001万ドルであった。2001年1～10月の辺境貿易3,783万ドル（輸出309万ドル、輸入が3,474万ドル）である。
- 対ロシア辺境貿易の問題点は貿易規模が小さく、輸入が殆どとなっていることである。
- ロシアに豊富な山林、鉱産資源があり、ロシア政府は外国投資を積極的に導入しようとしているが、私有化過程での混乱のため外国人投資は時期尚早である。

## 中国延辺朝鮮族自治州創立50周年記念第3回図們江地域国際投資貿易フォーラム

ERINA調査研究部客員研究員 李燦雨

2002年9月3日、中国吉林省の延辺朝鮮族自治州創立50周年を記念して第3回図們江地域国際投資貿易フォーラムが延吉市で開かれた。このフォーラムは中国中央及び地方政府と国連開発計画（UNDP）などが共催し1995年10月に延吉市で第1回目が開かれ、延辺州に海外投資が本格的に行われるきっかけとなった。その時は総計118件で8億4,350万ドル（外資は6億1,178万ドル）の投資契約及び協議書が締結された。第2回目は1998年9月に琿春市で開かれ、北朝鮮の羅津・先鋒経済貿易地帯との連携商談会となった。その時には、延辺州では総計141件で11億8,500億ドル（外資は4億7,400万ドル）の投資契約及び協議書が締結された。今回のフォーラムはUNDP図們江秘書処、UNIDO、中国国際経済技術交流センター、吉林省政府、延辺州政府が共同開催した。中国地域だけでなく、ロシア沿海地方や北朝鮮の羅津・先鋒経済貿易地帯を視野に入れた図們江地域の国際共同開発のための商談会として位置付けられている。

- 対ロシア投資戦略としては、近い将来には食品加工、水産品加工、製菓などの部門に重点を置くことが必要である。(例：ロシアから明太魚を輸入し、琿春輸出加工区内に明太魚加工センターを設立し、韓国市場に輸出する。)
- 農業、建築業は労務合作の重点部門である。

韓国側からは東北亜共同体研究協会・権永純代表の次のような提案が行われた。

現存施設・制度を最大限に活用しよう。

- 延吉空港の国際航路開設：延吉～韓国襄陽、延吉～新潟など開設し、空港周辺に免税区域を設置する。
- 束草～ザルピノ間に韓国人だけでなく中国人にも許容する。沿海地方を単純通過だけでなく、72時間滞在できるように許容する。

相互利益になる方法を提案する。

- ハサンと琿春の一部地域に特別行政区を設置し、TRADP会員国の人が一人当たり1万ドル、非会員国は3万ドル以上投資すると永住権を付与する。ロシアは琿春に、中国はザルピノに領事館を設置し投資、移住などを管理する。

ルートを連結し、共同繁栄しよう。

- ロシアはカミショーバヤまでの標準軌鉄道をザルピノまで延長し、ロシアの広軌も図們まで延長する。

図們江に内陸水路を建設しよう。

- 防川の南に5kmの運河を開設し、10kmの瀋蒲湖を浚渫し、図們江に4～5の提を建設する。中国がADBから借款で工事し、借款償還までUNDPが管理する。水路利用料で借款を償還し、終わったら北朝鮮が国際協約により管理する。

日本からは3の報告があった。

ERINA所長・吉田進

琿春を無農薬食品生産工業が主流である特色のある経済開発区として開発する必要がある。琿春発展のための具体項目は次の4項目である。

- 吉林省稲ワラ輸出で羅津港を利用
- 無農薬農業の開発
- 泥炭輸出の拡大
- 日中輸出商品開発

これを具体化させるために、日本東北7県と琿春市が連合事務所を設置し、ERINAと琿春市間にHot-Lineを設置することを提案する(琿春の情報をERINAの情報網を通じて日本国内の関連組織に転送)。

日中東北開発協会・岩崎篤意理事長

日本経済界にとって図們江地域開発の最大の意義は貿易、投資などのビジネスの環境が改善されることである。新しい状況に立脚したマスタープランを示すことが必要である。

とっとり政策総合研究所・長谷川欣吾客員研究員

鳥取県と延辺州の間では次のような経済交流・協力が行われている。

- 2000年に鳥取県の合板メーカーが琿春市に、ロシアと黒龍江省の針葉樹を利用して、住宅用合板を製造し、境港に輸入するという事業計画が検討された。UNIDOの支援制度を利用しF/Sを行い、実現したら年間2,600本のコンテナ輸送が可能となり羅津と境港の間に定期コンテナ航路を開設する計画であった。現在検討中である。
- 吉林省の企業と、緑化工事用資材である泥炭の開発輸入事業について交渉を開始している。
- 吉林産稲わらについては日本政府の検疫検査官が琿春市に派遣されるようになれば、相当数のコンテナ貨物が作り出される。
- 石材の加工輸出も有望であるが、吉林省政府主導の下で琿春市边境経済合作区に集めて加工し輸出すれば良い。

以上のような報告が行われ、図們江地域国際協力開発討論会は終了したが、今後はその開発と国際協力の更なる発展の段階へ入ることが期待された。

## 2. 中国図們江地域国際投資貿易商談会での投資誘致と貿易契約の結果

2002年9月2～4日まで延辺国際会展中心で開かれた中国図們江地域国際投資貿易商談会に、15国・地域から3,195人(海外は2,270人)が参加した。延辺州は256項目の対外経済技術協力対象を選定し、82個の投資誘致展示場と213所の貿易展示場を設置した。日本からは秋田県が30人の代表団を参加させ経済協力の商談が行い、鳥取県も独自のブースを設置し広報や貿易促進活動を行った。

今回の商談会期間中に、投資面で合計254の投資が結ばれ投資総額は11.65億ドルに達した。そのうち国内からの投資は5.87億ドル、海外投資は4.26億ドルであった。

契約締結は186件7.57億ドル(国内3.41億ドル、海外3.02億ドル)であり、合意書締結は68件4.08億ドル(国内2.46億ドル、海外1.23億ドル)であった。

分野別の投資誘致(契約+合意)の内容は以下のように

なっている。

### 第3回投資商談会で延辺州の分野別投資誘致実績

(単位：件、億ドル)

合計		農業		工業		サービス		インフラ		所有権交易	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
254	11.65	39	1.34	176	7.59	16	1.03	16	1.58	7	0.11

貿易面では7.43億ドルの契約（輸出3.28億ドル、輸入1.14億ドル、対外工事3,100万ドル、国内貿易2.7億ドル）が行われた。

今回の中国図們江地域国際投資貿易商談会の参加印象としては次の3点が挙げられる。

投資の面で、過去には契約締結より協議書締結が多く、実際に契約実行に繋がらなかったケースが多かったが、今回は契約締結が多くなり、実行に繋がる可能性が高くなった。

中国国内の他地域から延辺地域への投資が多くなっており、中国の全般的経済力の上昇を反映している。延辺地域も中国国内からの投資誘致に力を入れている。

図們江地域開発に関する関心が依然として強かった。日本の日本海沿岸自治体の場合、中国東北地域との航路開発や貿易・投資への関心が表明されており、今後環日本海地域の発展に地方間国際協力の貢献が期待される。